

令和5年度 岐阜市障害者総合支援協議会 第1回専門部会（テーマ別分科会） 議事要旨

日 時	令和5年6月6日（火）15：30～17：00
場 所	岐阜市役所6階6-1大会議室
出席者	関係団体 13名
	関係機関 6名
	一般・特定・障害児相談支援事業所 15名
	指定管理、委託事業所 6名
	（合計 40名）

○検討テーマ…「(仮) 岐阜市サポートブック forever ～親亡き後・災害時など緊急時に備えて～」

令和4年度第6回専門部会にて、障がい者の親亡き後を見据え、乳児期から本人のことをトータルで理解し、一貫した支援が受けられ、将来その情報が必要になった時や様々な場面で活用できるツールとして、また、親等が健在なうちに親心、それぞれの思いが記載できるツールとして生涯活用していけるように、「エンディングノート」の内容を加えて、岐阜市サポートブックを進化させていこうと検討した。また、第7回専門部会では、緊急時や災害時に活用できることも見据え、その備えとして、基本情報をまとめたシートなど、「(仮) 岐阜市サポートブック forever」に記載すると良い内容について協議した。

今回は、「(仮) 岐阜市サポートブック forever」を生涯活用できるものへと改訂するために、より実践的な取り扱いや周知の方法も含み協議した。

1. はじめに

- ・岐阜市障害者総合支援協議会の概要
- ・第1回専門部会（テーマ別分科会）の趣旨や流れについて

2. 「(仮) 岐阜市サポートブック forever」について

- ・令和4年度第6回専門部会での検討内容と結果の報告
- ・令和4年度第7回専門部会での検討内容と結果の報告
- ・現在の「サポートブック」の配布状況、活用情報の報告
- ・「(仮) 岐阜市サポートブック forever」について

3. グループワーク

「(仮) 岐阜市サポートブック forever」が、「どのようなものであると活用してもらえるものになるのか」をキーワードに、「様式の改善点」「普及啓発」「配布場所」「活用の方法」「今後の内容更新」「その他の懸念点」などを5グループに分かれ検討した。

<意見>

□様式の改善点

- ・各障がいの特徴やコミュニケーションの方法等を書き込めるとよい。
- ・自分に必要な項目を選べると使いやすい。
- ・視覚障がい者用に、音声で認識できるものがあるとよい
- ・カテゴリー分けされているため書きやすい。
- ・医療的ケア児の物品の項目が少ない。
- ・障がい別の用紙があるとよい。
- ・いつでも記入できるように、バラしてクリアファイル等に保管したり、計画相談の計画案等と一緒に閉じることで、支援者や親戚も見ることができる。
- ・記載量が多いため書く意識になれない。手書きよりアプリの方がよいのではないか。
- ・絵のデザインを変える等、見た目から興味をそそられるような、持っていて楽しいと思えるものにしていくとよい。

□普及啓発

<方法>

- ・市役所以外の関係者や、親同士の口コミで広がっていくと良い。
- ・誰もが目に入る場所にあるとよい。
- ・市のホームページから（検索して）「岐阜市サポートブック」を見つけにくいいため、周知の方法に工夫が必要である。

<対象（場面）>

- ・相談員や事業所の方が（サポートブックの存在を）伝えていかないと、当事者や家族が知る機会がなかなかない。
- ・災害時の支援を求めている方へは、防災対策課から案内ができるのではないか。

□配布場所 特に意見なし

□活用の方法

<普段>

- ・相談員がついていれば、一緒に考えていくことで準備できる。
- ・様式を熟知した上で一緒に作成してくれる人がいないと書く気にならない。家族に書いてもらうスタンス自体を考えなおさなければいけないと思う。

<緊急時、災害時>

- ・アプリ化することで緊急時などに担当者とメールでやり取りできると良い。
- ・（避難持ち出し）リュック等と同じ目の届くところに置いておく。

<親亡き後>

- ・将来の不安を解消につながるものであれば、「(仮) 岐阜市サポートブック forever」も意味のあるものになると思う。

<保管場所>

- ・普段から目に付く場所に置いておく。
- ・金銭に関することの保管場所は検討する必要がある。

〈配布後の情報更新〉

- ・すべてを埋めなければいけないという認識でなくてよい。例えば、財産目録の欄など後見人が付いたら記入する等であってもよい。

今後の内容更新 特に意見なし

その他の懸念点、意見など

- ・他の市町村でも使えるとよい。
- ・他の市町村も同様の取り組みをしていることから、岐阜圏域で一括したほうがよい。
- ・県編集の「かけはしノート」と重複する内容があるため、整理していくとよい。

<質問、意見等>

- ・各校区に発電機が3台あると聞いている。自治会との情報共有はどうなっているか。
⇒各自治会には、氏名・住所・必要な支援についての名簿情報を提供しているが、自治会の中で電源が必要な人の人数の共有はなかなかできていないと思うため、名簿申請の際に電源の必要について記入があると情報共有できる。また、自助にはなるが普段から災害時の困りごとについて、当事者等から情報を共有していただけるとよい。
- ・(災害時に) 福祉避難所に直接避難できないか。
⇒一般避難所に避難した後に必要に応じて福祉避難所へ避難することになる。福祉避難所は福祉事業者へ依頼しており、開設要請は福祉部が行うため、今後、福祉事業者や福祉部と改善できることはしていきたい。
- ・要支援者名簿があったとしても、地区によって活用の仕方が違うことも検討いただきたい。

4. まとめ

- ・「サポートブック」の配布と活用状況について確認し、「(仮) 岐阜市サポートブック forever」に対する思い等、共通認識を深めた。
- ・「(仮) 岐阜市サポートブック forever」が、不安解消につながるツールとなり、当事者や家族だけでは記載が困難な場合もあるため、相談員等と一緒に作ってけると良い。
- ・県や他市と共同し、一括して作成すると良いのではないかと。

5. 当日の様子



6. 当日アンケートの結果

①本日の専門部会について

良かった	… 16.7%
概ね良かった	… 75.0%
普通	… 8.3%
あまり良くなかった	… 0.0%
良くなかった	… 0.0%

②本日の専門部会について（複数回答可）

サポートブックの活用について理解が深められた	… 83.3%
サポートブックを親亡き後に活用できると感じた	… 25.0%
サポートブックを緊急時・災害時に活用できると感じた	… 16.7%
ご本人のアセスメント、ご家族と話すきっかけ等として サポートブックを普段から活用できると感じた	… 41.7%
その他	… 8.3%

③本日の専門部会の内容で特に参考になったことについて

- ・サポートブックの活用。
- ・サポートブックを広げていくには、あらゆる関係者に伝えていく必要がある。
- ・データ化が有効。
- ・自分の子どもの障害とは異なる障がいの人が必要としていることの違い。
- ・関わっている障がいによって視点や課題が様々である。
- ・緊急時、災害時のサポートで、福祉や医療との連携が重要。

④もう少し取り上げたり、掘り下げてほしかった内容について

- ・普及啓発の方法について支援現場の意見をもっと聞きたかった。
- ・サポートブックの内容の改善と普及啓発について、時間を分けて話し合えるとよかった。
- ・岐阜圏域でのサポートブックの作成について。
- ・アプリ化について。
- ・地域の防災訓練に障がい者は参加しない理由を踏まえて、非常時にどうしたらよいか考えるべき。
- ・緊急時や災害時の活用方法について深められなかったことが残念。
- ・医療的ケアの内容が少なく、文言が不確実であるなど問題点が多いため内容を充実させて欲しい。
- ・福祉避難所について具体的な説明。
- ・緊急時、災害時の対応について。

⑤その他の意見について

- ・本日の協議を踏まえて、当事者らが使いたいと思えるように改善して欲しい。
- ・いろいろな立場の人の意見を聞いて参考になった。
- ・サポートブック、防災については継続して協議して欲しい。